

2025年3月11日
大建工業株式会社
株式会社リバナス
大成生コン株式会社

新規開発中の「海洋再生資材」の実証試験を香川県三豊市で開始

「海洋再生資材」の実証試験を開始

DAIKEN

 **Leave a Nest**
The Knowledge Manufacturing Company

 **TAISEI**
ПАМАСОН

 **三豊市**
MITOYO

詫間漁業協同組合



大建工業株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役 社長執行役員CEO：億田 正則）、株式会社リバナス（本社：東京都新宿区、代表取締役COO：高橋 修一郎）、大成生コン株式会社（本社：香川県三豊市、代表取締役：三宅 淳也）は、香川県三豊市（三豊市長：山下 昭史）および三豊市で長年漁業を営む詫間漁業協同組合（代表理事組合長：山下 淳）との連携により、新規開発中の海洋再生資材の実海域での効果検証試験を開始いたしました。

本海洋再生資材は、海藻類の繁茂に寄与する着生基盤を目指し、自然由来の素材を原材料として開発を進めているものです。この開発と将来的な事業としての展開を通じて、海洋生物や海洋環境の再生・保全に貢献し、海の豊かさを増進することを目的としています。

取組の背景

世界自然保護基金（WWF）によれば、過去50年間で世界の生物多様性の69%が失われており（*1）、その経済的損失は44兆ドルにも達すると試算されています（*2）。とりわけ、地球の7割を占める海洋生物の減少率は深刻で、1970年以降の42年間で半数にまで減少したことが報告されています（*3）。

海洋環境の生物多様性維持に重要とされる環境のひとつが、藻場や海草を中心に形成された沿岸環境で、「海のゆりかご」と呼ばれるほど多くの海洋生物の住処となっているだけでなく、近年では炭素の貯蔵庫（ブルーカーボン）として注目されています。一方で陸地から流入する栄養塩の変化や海水温上昇等の影響により、沿岸環境は悪化の一途をたどっています。

本取組は、科学技術分野において新規研究開発・事業開発を手掛ける「リバネス」と建築資材の総合企業である「大建工業」が2023年度より開始した、大建工業の新規事業を共に探索する活動から生み出されたものです。創業時から未利用資源のアップサイクルに取り組んでいる大建工業の技術を核に、“環境を再生・保全するモノづくり”の共創を検討する中、三豊市で沿岸再生に取り組む「大成生コン」も本取組への想いに賛同し、2024年夏に参画。そしてこの度、現場実証に関してご協力いただいた「詫間漁業協同組合」の漁業者の皆様や、「三豊市」と共に、海洋環境回復へ挑戦します。



実証実験場所となる三豊市沿岸

実証試験概要

この度、本取組を通じて大建工業が開発した海洋再生資材の試験材を、2025年1月21日に三豊市の海域に設置しました。資材は構造や成分が異なる複数種類を開発し、今回の実証試験では海藻増殖により有効な手法を検証することを目標としています。実証期間中は大成生コンを中心に、回復傾向、造成動向を調査し、海洋再生に貢献する新資材の開発に向けた分析を進めます。

なお、取組が進み次第、追って詳細をお知らせする予定です。

（本実証試験の役割）

大建工業：資材の開発、リバネス：実証試験の進捗管理、大成生コン：資材設置後のモニタリング

構成機関からのコメント

・大建工業株式会社

建材事業を主軸としてきた当社において、海洋再生資材の開発は初めての試みであり、新たな挑戦となります。その中で、本実証試験は、大成生コン株式会社及び株式会社リバネスとの共創活動から生まれ、詫間漁業協同組合、三豊市の協力を得て開始することができました。当社が担う役割は、これまで培ってきた素材開発技術を活かしたモノづくりです。引き続き、皆さまとの活動を通して生態系にプラスに働く資材の研究開発を進め、環境の再生・回復に貢献してまいります。

・株式会社リバネス

「科学技術の発展と地球貢献を実現する」を理念として掲げる当社にとって、科学技術の力で海洋環境および生態系を回復させる本開発・実証はまさに推し進めるべき活動といえます。今回の実証試験に留まらず、今後も様々な研究者や企業が持つ知識や技術を集めて三豊、そして各地で海を豊かにする取り組みを進めてまいります。

・大成生コン株式会社

瀬戸内海沿岸に拠点を置く地域企業として、近年の海洋環境の悪化は目をつむることが許されない事態だと弊社は捉えております。しかし中小零細企業である弊社に出来ることは限られている。そのような想いの中、大建工業株式会社及び株式会社リバネスから本取組へのお誘いを頂きました。世界中で進行している海洋環境の悪化や生態系の遷移は、もはや一組織では解決できるものではないのかもしれませんが。ユニークな特殊技術やスキルを掛け合わせ、地域に住む私たちの海洋修復の願いと結びつけることにより、事態を打開できる一手を見出したいと思っております。

・三豊市

本市の豊かな海洋環境を次世代に引き継ぐため、本取組がスタートしたことを大変嬉しく思います。藻場の減少や海洋環境の悪化が進むなか、地域の漁業者の皆様、関係企業が連携し、新たな技術を活用した海洋再生資材の開発と実証に取り組まれることは、海の豊かさを守り、回復させる重要な一歩となります。

本市の海は、漁業や観光など地域経済の基盤であり、豊かな自然と共存するまちづくりにおいて重要な役割を果たしています。今回の実証試験を通じて、海洋生物の回復や環境改善につながることを期待するとともに、本取組が全国の沿岸地域に広がり、持続可能な海洋資源の保全に貢献することを願っています。

本市としても、本事業が成功するよう関係者の皆様と協力し、引き続き支援してまいります。

・詫間漁業協同組合

「かつて豊かだったあの瀬戸内海を取り戻したい」。詫間漁協はそう想い、企業、自治体、関係団体と連携し、海洋再生のための試験材を設置する本取組に参画致しました。

本取組は、漁業者にとっても持続可能な漁業の推進に寄与するとともに、地域の自然環境の保全にも大きく貢献するものと考えております。本取組を通じて、豊かな海の恵みを次世代に引き継ぐことを目指し、引き続き環境保全活動に尽力してまいります。

出典・用語解説

*1) 世界自然保護基金(WWF):Living Planet Report:生きている地球レポート2020

*2) 世界経済フォーラム(WEF):The Future of Nature and Business (2020)

*3) Living Blue Planet Report Species, habitats and human well-being

本件に対するお問い合わせ先

大建工業株式会社

担当:R&Dセンター 石黒 成紀、辻 真輝

TEL:086-264-5671

株式会社リバネス

担当:西山 哲史、小玉 悠然

TEL:03-5227-4198 MAIL:fd@lnest.jp

大成生コン株式会社

担当:三宅 淳也

TEL:0875-83-3010 MAIL:info@taisei-namacon.co.jp